

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成29年10月10日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670103482
法人名	医療法人 友志会
事業所名	グループホーム 玉里 (3F)
所在地	鹿児島県鹿児島市玉里団地2丁目5番1号 (電話) 099 - 220 - 3115
自己評価作成日	平成29年10月10日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成29年11月14日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

運営母体の内科・循環器内科のクリニックが同一敷地内にあり
在宅療養支援診療所の届出をしており、月2回の医師の訪問診療が
受けられる為、病気をお持ちの御利用者にも安心してお過ごし頂けます

いつまでもお元気で生活出来るように、1日30品目の食材を使用して
高齢者好みのお料理を作り喜んで頂いています

看取りに対応して居り、刻み食やミキサー食を作る等して、最後までお口
からのお食事をして頂けるよう工夫しています

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念は職員室に貼ってありスタッフは毎日のように目にして居り充分理解し実践している		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入して居り、地域のゴミ収集場所のお掃除等も行っている。回覧板も回って来る為、目を通して次の方のお宅へ届けている		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	運営母体は現在の場所で40年に渡って入院、介護療養型医療施設、グループホームへと必要に応じて転換し地域の方々の為に実践し貢献している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>いろいろなテーマで会議を開き、実行可能な問題を提供して話し合いを持ち、意見交換をしてサービスの向上に活かす努力をしている</p>		
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。</p>	<p>玉里は家賃が安い為、生活保護の方が1/3位入居して居られる為、市からの訪問も多くあり、また書類を届けに管理者が市へ伺う事も多く、市担当者とも協力している</p>		
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>理事長より身体拘束禁止令が出て居り拘束は行っていないが、御利用者の命を守る為どうしても必要な場合には会議を開き御家族の許可、理事長の許可のもと、拘束を行う事もある</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	スタッフはお給料を支払って下さっているのは利用者様方であるという意識のもと、虐待はあってはならないと自覚している		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	利用者様方一人ひとりには安心して生活していく権利があり、職員はその権利を守る義務があるという考えのもと、安全に日常生活を送って頂けるよう支援している		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時には利用者様の御家族とゆっくりと話をしながら契約内容について説明し、理解・納得して頂くように努めている		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	利用者様によってはしっかりと御自分の要望が言える方もおられる為、御家族へお伝えして出来る限り願いが叶うよう配慮している。あまり御自分で要望の表せない方へは特に配慮する		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	スタッフからの運営に関する意見は重視しており、実現可能な事柄はなるべく早期に実現するよう代表者や管理者は心掛けている		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員室で交代で昼食後休めるようにし、処遇改善加算Ⅰを申請しており、給与もこの3年間でだいぶ上がってきており特に夜勤者に多くなるよう配慮されている		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	代表者は職員のキャリアパス工場に理解があり外部での研修参加や法人内の研修で働きながらトレーニング出来るよう工夫し、一人ひとりの力量を高めるよう指導している		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同一敷地内のGH良友や1階のデイサービスを訪れる等、他施設の様子を見る機会をつくり、サービスの質を向上させていくようにしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居相談時に利用者のサービス利用上の問題点を見つけて困っておられる事を解決出来るかどうか考える。入居が決定したら本人の安心を確保する為に、必要な事柄を検討し解決する		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	サービス利用開始時に御家族の要望をお聞きして、利用者が安心して生活出来るようにケアプランを作成し、スタッフはそのプランに添って御利用者が困らないように最大限の努力をする		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	排泄について、食事形態について、入浴介助について、御本人の状況を見極めながらより良いケアを目指して、必要なサービスを提供出来るようにする		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	昼食を共に摂り、10時・15時のティタイムにはスタッフも一緒にお茶が飲めるようにして御家族の代理として暮らしを共にすると意識をもって、関係を築いていく		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人と御家族の間に立ち、両方の関係が良好に保たれるよう最大限の協力をする		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人の要望をお聞きして会いたい方、行きたい場所ややりたい事等を知り、利用者の想いをくみとり要望を叶えられる様、スタッフは最大限の努力をする		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	仲の良い方やウマの合わない方等利用者同士の関係を知り、一人ひとりが孤立しないよう仲良くお過ごし下さるよう必要な支援に努める		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	殆どの御利用者は看取りまで望まれる為、途中の退居は殆どない為、看取りによって契約が終了するまで、本人、御家族の相談支援に応じられるよう努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	家族に会いたい、お墓参りに行きたい、買い物に行きたい等々、希望や要望を把握し出来る限り本人の要望に答えてあげられるよう、御家族とも相談し支援している		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時や相談時に生活歴や暮らしぶり、生活環境や過去のサービス利用等を伺って、入居前とあまり差が出ないように支援している		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	起床時間を決めて起こすのではなく、本人が起きたい時に起きて寝たい時に寝られるようにする。遅れて食事をしたりする事等も認めて、本人が過ごしやすくする		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケアマネージャーを中心にスタッフもモニタリングに関わりケアプラン作成に関わるようにする為に、一人ひとりについてケアする上での問題点を探り、解決に向けての議論をしてケアプラン作成に活かしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	一人ひとりについて毎日本人の様子を日誌に書き込み、朝のミーティング時に情報を共有している。ケアプランを見直す必要がある時には実践出来るプランかどうか検討している		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれのニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	同一敷地内にあるGH良友へえ遊びに行ったり、デイサービスの行事に参加する等利用者の楽しみに繋がるような工夫をして楽しい生活を送ってもらうよう支援する		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近くの公園へ散歩に出掛けたり、タイヨーストアーへおやつを買いにスタッフと出掛けたり、手紙をポストへ入れに行ったりと暮らしを楽しめるよう支援している		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	当ホームは在宅療養支援診療所であり訪問診療を受けられるが、他科受診等は御家族へお願いをしており適切な医療を受けられるよう外出前の着替え等支援し、他院からの薬の管理等も行っている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	訪問診療に来られる主治医や看護師に利用者の状況を報告し、変化があれば両者に相談して対応を指導してもらって支援している		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	他医療機関に入院された時はお見舞いに伺ったり、御家族へ電話して状態を教えてください、退院後の受け入れに際して万全の体制をとれるように関係作りをしている		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	入居時に重度化対応について説明し、終末期をどこで過ごしたいか考えて頂き、当ホームでの看取りを希望される場合は、主治医を中心にクリニックの看護師やホームの准看護師と共にスタッフ一同最大限の支援をして看取りを行っている		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	吐血や下血等急変することもあり転倒・骨折されることもあるので、スタッフは応急処置や初期の対応について訓練し実務を身に付けている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害の際は初期消火に努め、必要であれば避難させる 地震時には身の安全を最優先する。災害に備え飲料水の保存や非常食を備蓄しており、高齢の近隣住民の避難場所になることも想定している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	スタッフは利用者様方に対して敬語で話し、友達言葉を使わない等、日頃から人格の尊重に努めている。利用者様方のプライバシーを損ねないように言葉使いや対応に配慮している		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	今夜は何が食べたいですか？とお聞きして献立を決めたり、ゲームをやりますか？お散歩に行きますか？等と働きかけて利用者様に決定して頂く様になっている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	寝たい時に寝て、起きたい時に起きられる様、自宅で過ごされる時と同じように過ごせるようにして一人ひとりのペースを大切に過ごして頂いている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	御自分で服を選んで頂く等、おしゃれの支援をしている		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	何か食べたいものはありますか？とお聞きしたりして食事が楽しみになるようにしている。昼食を一緒に摂り10時・15時に一緒にお茶お茶菓子を楽しみ、御家族の代理を努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	1日30品目の食材を使って調理をして栄養バランスを配慮している。10時・15時・夜間に水分補給をして脱水を起こさないよう支援している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食事の後はホールや居室で歯磨きをして頂き、自分で出来ない方はスタッフが歯を磨いてさし上げる等、口腔ケアを行っている		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	車椅子から立ち上がったならトイレにお連れする等、排泄の支援をし、出来る限りリハビリパンツを汚さないようにする等の支援をしている		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	野菜や果物を多めにとって便秘を防ぐようにしているが、高齢になると腸の動きが悪くなり便秘になりやすくなる為、下剤を使用することもある。定期的に排便があるかどうかチェックし記録している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴のお好きな方や好まれない方があるので、入浴を強要することなく楽しんで入浴して頂けるよう、本人の意志に合わせて入浴できるように支援している		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	朝食後、又、居室で休まれる方、昼食後にお昼寝をされる方、一人ひとり生活習慣が違うので、その方に合わせて休息や睡眠がとれるよう支援している		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人ひとり病気も違うので薬を間違えて服用させることのないようにダブルチェックをしており、服薬支援している		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	テーブルを拭いて頂いたり、洗濯物を畳んで頂いたり、出来る事をやりたい方にやって頂く様にしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	お散歩にお誘いする、タイヨーストアにおやつを買いにスタッフと出掛けたりと外出を楽しめるように支援している お墓参りを希望される時には御家族にお願いしている		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	一人ひとりがお預かり金をお持ちなので、肌着を買いにお連れしたり、上履き等の購入等、本人をスーパーにお連れして支払って頂く様にしている		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	ホームの電話を利用して御家族へ電話を掛けて頂いたり、手紙を書いてスタッフと共にポストに入れに行ったり等の支援をしている		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホールは比較的広く出来ており、テーブルの他にソファがある為、ゆったりと過ごして頂いている。ホール内には造花や生花を飾りベランダにも鉢を育てて、季節の花が楽しめるようにしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>気の合った方々が丸テーブルにつきトランプをしたり、独りになりたい方はソファに横になったりと自由に楽しい空間になっている</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居時に好みの家具やカレンダー等持ち込まれて、個性的な空間が出来上がっている</p> <p>御家族の訪問時には椅子・テーブルを居室に持ち込み、居室でお茶を飲んで頂く等工夫している</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>自分の居室がわからなくなる方の為に、入口に大きな文字で指名を書いて貼る等して自室がわかるようにしている</p> <p>自由にホールと自室を行き来されて自立した生活を送っておられる方も多い</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない